

2025（令和7）年度 一般選抜2期 化学基礎 入試問題「出題の意図」

問題1	純物質と混合物、構成元素の検出、状態変化について出題した。これらは物質の性質を理解するための基礎事項であり、物質を構成する成分とその調べ方に関する理解を確認することを目的とした。
問題2	周期律、原子の構造、イオン、分子、化学結合について出題した。いずれも物質の構造と性質を理解するうえで重要な基礎知識であり、基礎事項の理解を確認することを目的とした。
問題3	原子量、溶液の濃度、化学反応式と量的関係について出題した。これらは物質を扱ううえでの基本事項であり、基礎的理解を確認することを目的とした。溶液の濃度および化学反応式に関する設問では、基礎的な計算力や量的関係を図やグラフから考察する力についても確認した。記述問題では、原子量についての理解を問うた。
問題4	水素イオン濃度、pH、中和反応の量的関係、塩、中和の滴定曲線について出題した。化学実験だけでなく日常生活に関わる溶液のpHの知識を問うとともに、グラフから反応の変化を読み取る力についても確認した。
問題5	酸化数、酸化還元反応の量的関係、ヨウ素滴定、金属のイオン化傾向について出題した。酸化還元反応の理解に加え、反応の量的関係を扱う基礎的な計算力を確認することを目的とした。